

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもみらいアイビー				公表日		2026年 3月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用人数や活動内容に応じて机配置や活動スペースを調整し、安全に活動できる環境づくりを行っている。	児童の特性や活動内容に応じて、より過ごしやすい環境設定について継続的に検討していく。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	児童の人数や特性を踏まえて職員配置を行い、安全で安心できる支援体制を整えている。	児童の状況に応じて、より適切な支援体制となるよう継続して検討していく。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	活動スペースの区分けや掲示物などを活用し、子どもが活動内容を理解しやすい環境づくりを行っている。	今後も児童の特性に応じて、より分かりやすい環境設定について検討していく。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	日々の清掃や整理整頓を行い、清潔で安心して過ごせる環境づくりに努めている。	引き続き安全面にも配慮しながら、環境整備を継続していく。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	必要に応じて落ち着いて過ごすことができるスペースを確保し、クールダウンできる環境づくりを行っている。	児童の状況に応じて個別スペースの活用方法を検討していく。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	職員会議や日々の振り返りを通して支援内容を共有し、業務改善に努めている。	より多くの職員が意見交換に参加できるよう体制づくりを継続していく。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者向け評価表や日々の連絡等を通して保護者の意見を把握し、支援の改善に努めている。	保護者からの意見をより業務改善につなげられるよう取り組みを継続していく。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員間で情報共有や意見交換を行い、支援方法や事業所運営の改善につなげている。	職員の意見をより反映できる仕組みづくりを継続して検討していく。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	日々の支援の振り返りを行い、業務改善に努めている。	第三者評価については、今後必要に応じて実施を検討していく。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部研修や事業所内研修を活用し、職員の専門性向上に努めている。	今後も研修機会の確保に努め、支援の質向上を図っていく。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	児童の発達段階や特性を踏まえた支援プログラムを作成し、日々の活動に取り入れている。	支援内容がより分かりやすく伝わるよう、今後も内容の整理や情報発信の工夫を行っている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者からの聞き取りや日々の観察を通してアセスメントを行い、児童のニーズを把握した上で支援計画を作成している。	児童の状況の変化に応じて、アセスメントの充実を図っていく。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心に職員間で情報共有を行いながら、児童の最善の利益を考慮した計画作成を行っている。	職員間の情報共有をさらに深め、より質の高い計画作成を目指していく。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画を職員間で共有し、計画に基づいた支援が行えるよう取り組んでいる。	計画内容の理解を深めるため、職員間の共有方法について引き続き検討していく。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	日々の行動観察や記録を通して児童の状況を把握し、支援内容に反映している。	必要に応じてアセスメント方法の充実を図っていく。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインを参考にしながら、児童の発達を促す支援内容を計画に反映している。	今後もガイドラインを踏まえた支援内容の充実を図っていく。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員間で意見交換を行いながら、活動プログラムを企画している。	より多様な活動が提供できるよう、引き続き内容の充実を図っていく。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	季節行事や外出活動などを取り入れ、活動内容が固定化しないよう工夫している。	児童の興味関心を踏まえた活動内容の充実を検討していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	児童の特性に応じて個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。	児童の状況に応じて、より適切な活動内容を検討していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前に職員間で打ち合わせを行い、その日の支援内容や役割分担を確認している。	支援の質向上のため、打ち合わせ内容の充実を図っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後に振り返りを行い、気づいた点や改善点を共有している。	振り返り内容を今後の支援により活かせるよう取り組みを継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援記録を作成し、児童の様子や支援内容を職員間で共有している。	記録内容の充実を図り、支援の改善につなげていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングを行い、必要に応じて支援計画の見直しを行っている。	児童の状況に応じて適切なタイミングで見直しを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0	自立支援、創作活動、余暇活動などを組み合わせた支援を行っている。	活動内容のさらなる充実を図っていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	児童が活動を選択できるような環境づくりを行い、主体的な活動を促している。	児童の自己決定を促す支援方法について継続して検討していく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	必要に応じて相談支援専門員や関係機関との情報共有を行っている。	関係機関との連携をさらに深めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	学校や関係機関と情報共有を行いながら支援を行っている。	関係機関との連携体制を引き続き強化していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	送迎時の情報共有や連絡等を通して学校との連携を図っている。	より円滑な情報共有ができるよう取り組みを継続していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	必要に応じて就学前の支援機関からの情報を参考にしながら支援を行っている。	過去の支援情報をより有効に活用できるよう検討していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7	今後の移行支援に備え、必要な情報共有の方法について検討している。	実際の移行ケースに応じて関係機関との連携体制を整えていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	7	必要に応じて専門機関との連携について情報収集を行っている。研修には来て頂いている。	児童発達支援センター等との連携機会を検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	地域との関わりを意識しながら支援を行っている。	地域との交流機会について今後検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7	関係機関との情報共有を通して地域の支援体制を把握している。	協議会等への参加機会について今後検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や連絡帳等を通して保護者と情報共有を行っている。	保護者との連携をさらに深めていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	保護者からの相談に応じて助言や情報提供を行っている。	家族支援の機会について今後検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に運営規程や利用者負担、支援内容について丁寧に説明している。	より分かりやすい説明方法について検討していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	児童や保護者の意向を確認しながら支援計画を作成している。	意向確認の機会を引き続き大切にしていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	支援計画を説明し、保護者の同意を得たうえで支援を実施している。	計画内容がより理解しやすいよう説明方法を工夫していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者からの相談に対し、必要に応じて面談や助言を行っている。	保護者支援の充実を図っていく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	保護者との連携を大切にしながら支援を行っている。	保護者同士の交流機会について今後検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情対応体制を整備し、迅速な対応に努めている。	引き続き適切な対応体制を維持していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	連絡帳や案内等を通して活動内容の情報提供を行っている。	情報発信方法の充実を検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の適切な管理を行っている。	引き続き適切な管理を徹底していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	児童や保護者に分かりやすい説明を心掛けている。	意思疎通の方法について継続して工夫していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	地域との関係づくりを意識しながら事業運営を行うよう努める	地域交流の機会について今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	事故防止や感染症対策等のマニュアルを整備している。	職員への周知や訓練を継続して行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPを策定し、避難訓練を実施している。	災害時対応の体制強化を継続して行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	児童の健康状態や服薬状況について事前に確認している。	健康情報の共有体制を継続して整えていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギー情報を確認し、安全に配慮した対応を行っている。	引き続き安全管理を徹底していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を作成し、安全管理に努めている。	安全対策の見直しを継続して行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全確保の取り組みについて保護者へ説明している。	保護者への周知方法について引き続き検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット事例を職員間で共有している。	再発防止の取り組みを継続して行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止に関する研修や意識共有を行っている。	職員研修を継続して実施していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束の適正化について職員間で周知している。	やむを得ない場合の対応について継続して確認していく。	